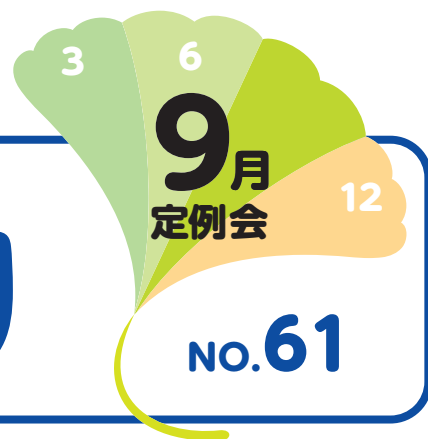


やまぐち 市議会だより



新本庁舎建設に伴い解体される山口市中央
駐車場。長い間、市民のために本当にあり
がとうございました。あなたに敬意を表し、
記録に残すことといたします。

定例会ピックアップ.....	2
議案の審議結果.....	5
委員会ア・ラ・カルト.....	6
市長に聞きたい！.....	8
議会からのお知らせ.....	15

【緊】 急集中PCR検査の実施 〈感染拡大を防げ〉

【1,600万円】 8月末で申請期間終了

ワクチン接種の対象となっていない12歳未満の子どもが通う施設での感染者の早期発見による感染拡大の防止を図るため、任意のPCR検査を実施するものです。



希望者に配送された検査キット

【飲】 食サービス事業者や 観光関連事業者等への支援

【1億8,000万円】 10月末で申請期間終了

県外との往来の自粛や外出機会の半減に伴い、大きな影響を受けている市内の飲食サービス事業者や観光関連事業者等の事業継続、感染症対策強化に向けた取組促進を図るため、原則20万円の支援金を給付するものです。



デルタ株感染拡大防止の緊急対策と社会経済活動を維持するための取組として、第10弾となる経済対策や8月の豪雨による災害復旧に係る補正予算議案、令和2年度の決算議案など45議案を審査し、議員全員の賛成により可決・承認認定しました。

指摘・要望

- 必要な支援が早く届くように制度の周知をはじめ、事業の円滑な推進をお願いする。
- 国、県の制度との相乗効果も促していただき、今後も事業者の声をしっかりと聞き、適切なタイミングで切れ目なく施策を講じていただくよう要望する。
- 宿泊業に欠かせない関連サービス業（施設や客室清掃の人的サービス等）は、支援金の対象外だが、今まさに経営危機に瀕している。その他のサービス業など、「エール！やまぐちプレミアム商品券」による消費喚起の対象からも外れる業種の方の声を聴き、早急な支援を求める。

市民を 暮らしを 守りぬく！！

2021年
9/6～10/8

上程された議案

予算

7件

条例

7件

事件議決

9件

諮問

5件

決算認定

16件

意見書

1件

【災】

害復旧事業へ8月豪雨対策として
【1億8,590万円】

8月12日から20日にかけての大雨により被災した道路や河川等を復旧するものです。



一般質問 質疑の初日、渡辺市長から任期満了に伴う次期市長選挙に出馬しない意向が表明されました。定例会最終日には、渡辺市長からこれまでの市政運営への並々ならぬ思いや、今後のまちづくりに寄せる期待など、4期16年に渡る市政運営を締めくくる挨拶がありました。



渡辺市長、たいへん
お疲れさまでした。



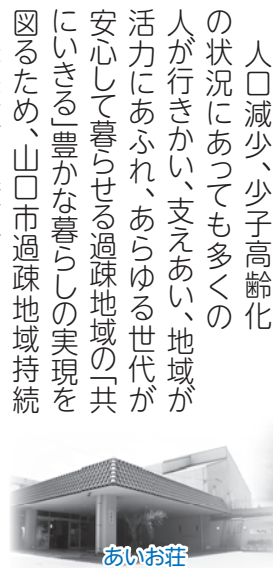
意見申す。

山口市過疎地域持続的発展計画を策定

- 人口減少、少子高齢化、地域経済の弱体化等の課題が長年解決できないまま現在に至っている。今回の計画による取組が地域に活力を与え、安心して暮らせる地域が構築できる取組となることを期待する。
- 本計画の着実な実行により、過疎地域からの新たな好影響・好循環の対流を期待している。
- 施策においては、今までとは違う発想で取り組む必要があることも指摘する。

人口減少、少子高齢化の状況にあっても多くの人が行きかい、支えあい、地域が活力にあふれ、あらゆる世代が安心して暮らせる過疎地域の「共にいきる」豊かな暮らしの実現を図るため、山口市過疎地域持続的発展計画を策定しました。

これまでの取組に加え、デジタル化を通じた暮らしの安全安心や生活機能の向上、地域課題に取り組み人材の確保・育成を図るなど、徳地、阿東、秋穂地域の自立に向けた持続可能な地域社会の形成と特色ある地域資源を活用した地域活力のさらなる向上を目指す「過疎地域の持続的発展」の実現に向けて取り組めます。



最終日に総務委員会から提案され、全会一致で可決しました。意見書の全文は市議会ホームページに掲載しています。

国へ提出します!!

地方自治体の財政需要に見合う財源確保のため、令和4年度地方税制改正に向けた取組を実現するよう求めるもの。



市議会
ホームページ



コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について (委員会提出)

南部地域の
鑄銭司・名田
島・一島・秋穂
幼稚園の4つ
を統合し、教育
と保育を一体
的に行う幼保
連携型認定こ
ども園「山口み
なみこども園」
が開園します。



意見あり!!

- 幼保連携の試行とともに、子育て、幼児教育を牽引し、子どもたちの健やかな成長と幼児教育の推進、郷土愛の醸成に邁進してほしい。
- 以前から要望のあった保育所機能であり、南部地域の定住人口の増加に大いに寄与するものである。



山口みなみこども園
令和4年4月に開園

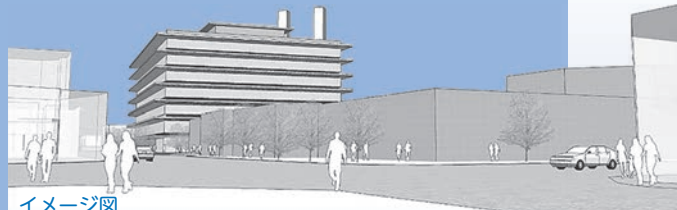
新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会 ～第7回中間報告(要旨)～

委員会において、諸施設計画や環境配慮計画、構造計画が示され、山口市新本庁舎整備専門会議における各委員からの意見、今後の予定についての報告を受けました。

その後、周辺道路の整備方針や、隣接する市民会館との交流機能の機能分担などの新本庁舎一帯を含めた整備の方向性など、多岐にわたるテーマで議論を行いました。

駐車場に関しては、収容台数の算定方法や本庁舎に勤務する職員の駐車場利用の考え方、周辺の民間駐車場への影響等について議論しました。

なお、基本設計作業に遅れは生じているものの、令和6年度の新本庁舎棟の竣工、また、令和8年度の市民交流棟や新立体駐車場などの竣工については、当初計画から遅れることなく進めていくとのことでした。



イメージ図



議会で厳しく チェックしました。

決算が認定されるまで

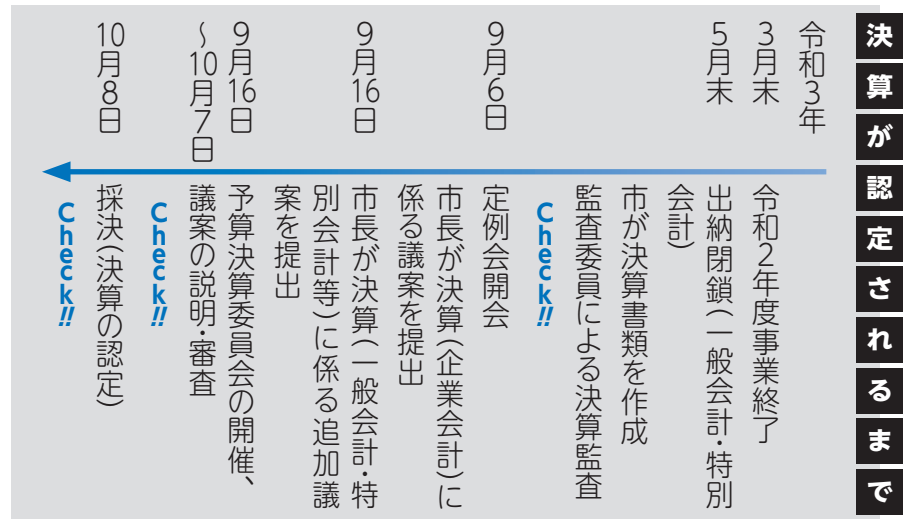
令和2年度の一般会計をはじめとする各種会計の決算認定議案を審査しました。決算の審査では「将来を見据えての財政状況は健全であるか、適正に予算を執行し所期の効果を上げているか、今後の予算や事業に反映すべき事項はないか」といったさまざまな視点でチェックし、疑問点などを確認しました。

各議員から厳しい指摘、意見もありましたが、コロナ禍で年度当初の計画どおりの事業執行が難しいながらも、総じて第二次山口市総合計画の中間年度と第二期山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組を一体的に進め、着実に実行されていることを確認し、全会一致で認定しました。

次年度の 予算編成 に生かす

審査日程を変更 !!

各事業の成果の分析や決算審査での議会からの指摘等を次年度予算に反映させるため、日程を前倒しました。



決算額等の詳しい内容は、「市報やまぐち11月1日号」をご覧ください。



市公式
ウェブサイト

決算審査では、こんな意見や質疑がありました。

事業推進を担う専門職員の確保を！

- 保育所の待機児童解消に向けた施設整備等による定員拡大が行われていることは評価するが、保育士の確保ができないために待機児童が発生している状況にある。保育士の確保に向けた取組を求める。
- 保育や介護を担う人材の質と量の不足が、地域福祉の充実を図る各事業の推進を鈍らせる要因となっている。専門人材の確保を進め、今後の市政発展のカギとなる子育てや福祉といったソフト事業の充実を求める。

求められる支援にあった経済対策を！

- 新型コロナウイルス感染症経済対策の予算が組まれ、感染拡大防止の取組と疲弊した市民生活や低迷した市内経済の下支えが行われたが、各施策の効果がどの程度あったのか、その検証が必要である。今後もウィズコロナ、アフターコロナに向けた、的確で効果的な施策・対応を求める。
- 新型コロナウイルス感染症経済対策については、数多くの事業が予算化された中、執行率が低いものも多くあったことから、今後に向けた全庁的な検証を求める。

新しい生活様式への対応を！

- コロナ禍においても、各事業の成果が得られるよう、令和2年度決算を踏まえ、工夫を凝らした令和3年度予算の執行と、新しい生活様式に対応した令和4年度予算の編成を求める。



議案の審議結果

■全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第9号）
- 令和3年度山口市介護保険特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市駐車場事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市地域下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市特別林野特別会計補正予算（第1号）
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第10号）
2・7ページに関連記事あり

条 例

- 山口市個人情報保護条例の一部を改正する条例
- 山口市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市立認定こども園設置及び管理条例
3ページに関連記事あり
- 山口市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例
- 山口市景観条例の一部を改正する条例

事 件 議 決

- 山口市過疎地域持続的発展計画を定めることについて
3ページに関連記事あり
- 市道路線の認定について
- 秋穂漁港海岸（大海地区）海岸保全施設整備工事の請負契約の締結について
- 小郡体育館耐震補強・改修工事の請負契約の一部を変更することについて
- 徳地地域複合型拠点施設整備徳地文化ホール改修工事の請負契約の一部を変更することについて
- 山口市立小中学校校務用コンピュータ等の取得について
- 山口市立小中学校教育用コンピュータ等の取得について
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第7号）に関する専決処分について
- 令和3年度山口市一般会計補正予算（第8号）に関する専決処分について

決 算 認 定

4ページに関連記事あり

- 令和2年度山口市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和2年度山口市簡易水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和2年度山口市公共下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和2年度山口市農業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和2年度山口市漁業集落排水事業会計利益の処分及び決算の認定について
- 令和2年度山口市一般会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市介護サービス事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市鑄銭司第二団地整備事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市地域下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市国民宿舎特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度山口市特別林野特別会計歳入歳出決算の認定について
- 令和2年度宇部・阿知須公共下水道組合会計歳入歳出決算の認定について

諮 問

- 人権擁護委員の候補者の推薦について（5件）（敬称略）
國重 雅子（新任） 永野 菜穂美（新任）
三宅 洋子（再任） 徳万 孝治（再任）
椿 信善（新任）

委 員 会 提 出

- コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書の提出について
3ページに関連記事あり



慎重な
審議の結果、
今定例会では
45議案を
可決しました。

山口市議会では、「総務」「教育」「民生」「生活環境」「経済建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



県内初導入 やまぐちADネットプラスとは

総務
委員会

救急現場から医療機関への電話による情報伝達に加え、タブレットパソコンを用いた動画や静止画などのリアルタイム伝達により、けがや病気の状態を視覚情報として伝えられるようになった。また、救急隊が搬送先へ手渡ししている現場観察記録票をタブレットで作成し、救急車内から伝送する機能も備えており、迅速・的確な情報伝達が可能となった。
(担当部局：消防本部)



傷病者の受入判断や院内処置の事前準備、医師から救急隊への助言などの効果が期待されます



市政情報コーナーのデジタル化

総務
委員会

パソコンやスマートフォン等を持たれていない方でも、デジタル化された資料を容易に閲覧できるよう、地域交流センター及び分館に市民が利用できるタブレット端末を配置した。手軽に市政情報コーナーポータルサイト



市政情報コーナー
ポータルサイト
(市ウェブサイト)

にアクセスでき、行政計画や予算決算などの情報を閲覧することができ。今後は、このサービスが市民に浸透するよう幅広く周知していく。
(担当部局：総務政策部)



ごみ分別アプリ「さんあゐる」 冊子を作成しては

生活環境
委員会

「さんあゐる」は、登録した地域のごみ収集日のお知らせや分別方法の検索が可能なスマートフォンアプリであり、印刷物で配布している「ごみ分別の手引き」よりも簡単に分別方法等を調べることができ。冊子版の「さんあゐる」については、既存の「ごみ分別の手引き」の活用も含め、今後検討していきたい。
(担当部局：環境部)



ごみ分別アプリ
「さんあゐる」
(市ウェブサイト)

委員の意見

・スマートフォンに慣れない方にとっては、分別アプリの利用が難しい。地域のごみ当番の際は紙媒体のものがあると便利なのではないか。



ごみ出し支援事業の実証 進捗状況は

生活環境
委員会

今年度、燃やせるごみの戸別収集を実証的に開始することとしている。対象者は、要介護認定を受けている方や障害者手帳をお持ちの方のみで構成された世帯のうち、ごみ集積所まで家族、または別居の親族や介護に関わる方等の支援による排出が困難な世帯としている。
10月以降、順次対象世帯の戸別収集を開始していく。
(担当部局：環境部)

委員の意見

・ごみ出しに苦勞されている高齢者の方なども支援の対象となるよう、対象者の拡大を検討してほしい。



新型コロナウイルスワクチン接種 の進捗と今後の対応は

教育民生
委員会

市における接種状況は、医療機関等の協力により、9月末時点で1回目の接種率が80%を超えるなど高い水準となっている。

また、追加接種（3回目のワクチン接種）については、早ければ令和3年12月から開始することが想定されていることから、接種対象者の抽出や実施体制の確保に向けた準備を進めていく。

（担当部局：健康福祉部）

委員の意見

- ・ワクチン未接種で接種を希望される方へは、なるべく早い時期に接種が終えられるように働きかけてほしい。
- ・追加接種に向けて、これまでの経験を生かして、予約受付時から、接種が円滑に進捗するように準備を進めてほしい。



学校給食費の公会計化 円滑な導入に向けて

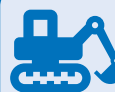
教育民生
委員会

令和4年度からの学校給食費の公会計化に向けた取組として、公会計制度の導入時期やこれまでの変更点などを周知するため、保護者に対して文書によりお知らせを行った。また、個人情報や口座情報等を管理するシステムの構築を行い、保護者から提出された振替口座情報等の入力作業を進めている。

（担当部局：教育委員会）

委員の意見

- ・公会計化にあたって収集した個人情報の取り扱いについては十分に注意してもらいたい。



8月に発生した 大雨被害からの復旧を

経済建設
委員会

8月12日からの大雨により、市道の路肩や河川の護岸、農地等が崩壊するなど、市内各地で多くの被害が発生した。すみやかに現地調査や事業費の精査を行い、国による補助の対象となる被災箇所が災害査定に向けて準備を進めるとともに、不足する事業費について補正予算を計上している。



崩壊箇所の調査

災害査定後、12月下旬から1月上旬には工事に着手し、3月末までの完成を目指している。

（担当部局：都市整備部・経済産業部）

- 問 後日、被災箇所が判明した場合の対応はどうするのか。
- 答 復旧の必要がある箇所については、地元と協議しながらしっかりと対応していく。



新型コロナウイルスの影響を 大きく受けている事業者の支援を

経済建設
委員会

市内の事業者が、新しい生活様式への対応や新たな業態へチャレンジするための設備の導入に係る経費を補助する「新しい生活様式導入応援補助金」について、12月28日まで申請期間を延長した。この他にも県による補助メニューなどさまざまな支援策があるため、影響を受けている事業者の方は、まずは相談していただきたい。

（担当部局：経済産業部）



新しい生活様式
導入応援補助金
（市ウェブサイト）

市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市



★議員が何を質問したか、読んでみましょう!

★質問と答弁の映像は、各議員の二次元コードから見る事ができます。

※必要な場合には、二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。

※情報の受信にかかる通信料は、利用者負担となります。

★一般質問の制限時間は、質問と答弁をあわせて50分です。

行政 任期満了を迎える渡辺市長の進退について!

希望する全ての市民が接種できる体制整備に取り組んでいく。



力をいいただきながら、希望する全ての市民が接種できる体制整備に取り組んでいく。

問 今後のワクチン接種計画について伺う。

医療 新型コロナウイルス感染症対策について

答 これまでの市政の方針と市政運営体制を継承し、総合的かつ豊富な行政経験を有し、高い志を持っている方にバトンタッチをする決断をした。新しいリーダーには卓越した政策力と実行力により本市のさらなる発展を実現していただけると確信している。

問 市長ご自身の進退と山口市政の展望を伺う。

自由民主党山口
馬越 帝介

まこし たいすけ

産業 産業交流拠点施設を活用した南部地域の振興を!

○新本庁舎整備について

●その他の質問



産業交流拠点施設でのマルシェ開催

問 アフターコロナを見据える中、産業支援機能やコンベンション機能などが集積する産業交流拠点施設を今後どのように南部の地域振興へつなげていくのか伺う。

答 本施設は、南部地域が目指す地域資源の魅力発揮、地域経済の活気創出、移住定住の促進を支援できる機能や施設、人材を有している。このため、今後、積極的な広報等による各機能のさらなる周知を図り、南部地域に携わる関係部局を中心に本施設を活用した各種事業を展開する中で多くのの方に施設利用を促し、南部地域の発展につなげる。

県都創生山口
野島 義正

のしま よしまさ

子育て 高校生入院費の助成を！

問 経済対策第9弾の団体への支援補助金で対応できると考えているが、新たな支援が必要になった場合は、財源も含め支援策を検討したい。

答 子育て世帯への経済的支援のため、子ども医療費助成の範囲をさらに拡充し、高校生の入院費助成を求めたいが、市の所見を伺う。

問 子育て世帯を支援する事業に継続的に財源を確保し、少子化対策や定住促進に向けてどのような世代へのさらなる施策の実現が効果的か、高校生の入院費の助成も含めて検討していく。



産業 異業種間連携を支援する財源の考え方
市内事業者への支援策の拡充が必要と考えるが、異業種間での連携や協力を実施する場合の財源の考え方について伺う。

問 経済対策第10弾において、売上げが大幅に減少した事業者に対する支援金の給付対象が拡充されたが、その意図について伺う。また、コロナ収束後は消費喚起策の実施が市内産業の立て直しには必要不可欠であるが、現在停止している消費喚起策の再開のタイミングやさらなる追加対策の必要性について伺う。

公明党
其原 義信
そのはら よしのぶ

生活 アフターコロナを見据えた経済対策を！

問 県からの要望や聞き取り、事業者の声を踏まえ総合的に判断し、地域産業を守る観点から独自の支援として対象業種を拡充した。また、消費喚起策の再開は、第5波が収束し、集中対策期間が終了するタイミングが一つの目安と考える。追加対策は、幅広い業種に波及効果が見込める取組を、適切なタイミングでスピード感を持って実施したい。



答 県からの要望や聞き取り、事業者の声を踏まえ総合的に判断し、地域産業を守る観点から独自の支援として対象業種を拡充した。また、消費喚起策の再開は、第5波が収束し、集中対策期間が終了するタイミングが一つの目安と考える。追加対策は、幅広い業種に波及効果が見込める取組を、適切なタイミングでスピード感を持って実施したい。

問 経済対策第10弾において、売上げが大幅に減少した事業者に対する支援金の給付対象が拡充されたが、その意図について伺う。また、コロナ収束後は消費喚起策の実施が市内産業の立て直しには必要不可欠であるが、現在停止している消費喚起策の再開のタイミングやさらなる追加対策の必要性について伺う。

ふるさと共創やまぐち
宮川 英之
みやかわ ひでゆき

産業 デジタル人材の育成と環境づくりについて

問 デジタル社会を見据えてのデジタル人材の育成について、市の考えを伺う。

答 今年度から「山口市デジタル人材育成・仕事創出 ネットワーク形成事業」として、地元企業のDX促進や地方における仕事の創出、デジタル人材のネットワークの形成による人材の掘り起こしや可視化、新しい価値創造に繋がるコミュニケーションの創出、高度なデジタル人材を活用したスタートアップ創出の環境づくりに取り組んでいる。これからの時代を切り開くデジタル人材や産業人材を育成し、そうした人材が山口で働きたい、住みたいと思えるような魅力あふれるビジネス環境づくりに積極的に取り組む。

※スタートアップ
革新的なアイデアや独自性で、今までにない新しいビジネスモデルを構築し、短期間に大きな成長を目指す企業や事業。

高志会
伊藤 青波
いとう しょうは

農業 米価下落対策の政府要請

問 政府は「食料・農業・農村基本計画」で、食料自給率45%と低い目標を掲げているが、実績は下降一直線である。市は政府に対し、過剰在庫の市場からの隔離やミニマムアクセス米の輸入中止、生活困窮者や学生・子供食堂などへの供給、転作補助金的大幅拡充などを要請する必要があると考えるが対応を伺う。

答 備蓄米としての追加買い入れや転作補助金の拡充等は、有効な米価安定対策の一つと認識している。全国市長会においても、この課題を共有し、米価下落等に対するセーフティネットの整備や需要に応じた生産を可能とする情報提供等を講じるよう国に提言している。引き続き、情報共有を図りながら対応を検討していく。

※ミニマムアクセス米
日本が高関税を課して輸入を制限する代わりに、最低限輸入しなければならない量の外国米。

日本共産党
西村 芳和
にしむら よしかず

行政 新庁舎 過剰な施設になりませんか？

問 各種手続が電子手続でできるようになることが今後の行政の主流であり、申請をしなくても手続が終わっているノンストップサービスが最終的なゴールである。市役所に来なくてもサービスが受けられる時代が来る中で、庁舎規模は縮小していくと考えるが市の認識は。

答 窓口サービスの最適化やデジタル技術の導入をさらに進める中で、将来的に行政デジタル化に伴い来庁者や対応職員の減少などの可能性も予見されるが、新本庁舎完成時点での利便性をしっかりと確保できる庁舎や執務環境とすることが大切と考える。コンパクトで機能的な庁舎づくりの視点は欠かすことなく、将来の行政需要や組織体制の変化に柔軟に対応することを想定している。




市民クラブ
部谷 翔大

へや しょうた



環境 地球温暖化は異常気象の原因の一つです！

問 地球温暖化は豪雨や猛暑など異常気象の原因の一つと言われている。市民にも対策に協力していただくため広報や啓発をどう進めるのか。

答 環境に配慮した選択を促す「クールチョイス」の周知啓発としてキャラクターを作成し、コミュニティバスやごみ収集車へのラッピング、子どもへの環境学習を実施している。子どもたちが安心して生活できる脱炭素社会の実現に向け、市民や事業者と連携を図り、メディアやイベント、SNS等を活用し、分かりやすい周知啓発に努める。

●その他の質問
○保育所における新型コロナウイルス感染症対策について



<http://kankyo-portal.jp/cool-choice/>

COOL CHOICE YAMAGUCHI ウェブサイト



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎

たけなか いちろう



福祉 介護施設利用者の負担軽減に市独自策を

問 今年8月から介護施設入所・利用者の負担限度額が改悪され、月2万円の負担増となり、退所せざるを得なくなる人も出ると危惧するが、市独自の軽減制度に早急に取り組むべきではないか。

答 制度改正では施設利用の負担限度額の判定基準となる所得段階を細分化し、預貯金等の資産要件も見直された。新たな負担区分の該当者は、食費が施設入所710円増、シヨートステイ650円増となり700人程度を見込む。丁寧な説明に努め、低所得者支援制度の適切な活用を進めたい。市単独での負担軽減策は、在宅と施設利用者との公平性、受益者負担、制度の持続可能性の観点から困難で、国の責任において、財政措置を含めた必要な対策が講じられるべきと考えている。




日本共産党
大田 たける

おおた たける



行政 風通しの良い職場づくりで職員の心の健康対策

問 職員の心の健康に対する現状認識と対応方策について伺う。

答 昨年度、メンタルヘルスの不調を理由に一週間以上休んだ職員は26人で、直近5年間は横ばいで推移している。毎年、全職員のストレスチェックを行い、希望者には臨床心理士による診断やカウンセリングも実施している。近年、感染症対策や災害対応で業務量が増加傾向にあるほか、市民対応や高度で専門的な知識が求められることに心理的な負担を感じる職員が増えることが予想される。引き続き、研修を通じてメンタルヘルスに関する知識の向上に取り組み、専門医等関係者と情報を共有し、職員同士のコミュニケーションが活発な風通しの良い職場づくりを実現していく。




市民クラブ
山見 敏雄

やまみ としお



防災 異常気象への対応、コロナ禍での避難所対策は

に開設でき、連絡体制を整えている。



避難所の施設管理者と連絡体制を改めて確認するとともに、従事する職員の増員に取り組み、避難所の責任者をあらかじめ選定して迅速に開設できるように連絡体制を整えている。

問 コロナ禍での避難所開設は今まで以上に人手がかり、連絡体制や人員体制の整備は急務と思われるが、体制整備の取組や準備は万全か。

答 複数の避難所の開設に当たり、第2に開設する避難所の施設管理者と連絡体制を改めて確認するとともに、従事する職員の増員に取り組み、避難所の責任者をあらかじめ選定して迅速に開設できるように連絡体制を整えている。

問 今後もしこり得る内水氾濫等への緊急・応急的な対応も含め、どのような対策・体制を考えているのか。

答 災害対策本部の判断・指示を待たず、現地对策本部や水防支部等における現場判断で対応が行えるよう、書類等に明確に記載するなど、スピード感ある対策が講じられるよう対応を検討している。



山口市創生
瀧川 勉

たきがわ つとむ



健康 入院・入所時、コロナ禍での家族とのふれあい

○新型コロナウイルス感染症の第6波に備えた体制
▼PCR検査拡大
▼ワクチン接種
○消防後援会

問 入院・入所中の方は、家族の手を握る、背中をさすといった家族とのふれあいがコロナ禍で制限されている。ふれあいは病気の回復や精神的な安定にもつながり、市民生活の質の向上にもつながる。その対応や支援について病院や介護施設と協議されているか。

答 専門職を対象にした合同学習会を予定している。

問 専門職を対象にした合同学習会を予定している。

答 専門職を対象にした合同学習会を予定している。

問 入院・入所中の方は、家族の手を握る、背中をさすといった家族とのふれあいがコロナ禍で制限されている。ふれあいは病気の回復や精神的な安定にもつながり、市民生活の質の向上にもつながる。その対応や支援について病院や介護施設と協議されているか。



日本共産党
尾上 頼子

おのうえ よりこ



農業 有機農業の推進

路の拡大や担い手対策の好事例として情報収集し、機会を捉えて検討したい。



問 平成24年3月に山口市有機農業推進計画を策定されたが、今後どのような内容・スケジュールで推進するのか。また、長門市が民間企業と農業連携協定を締結し、耕作放棄地の活用による有機農業の拡大や農業従事者の確保などの事業を行っているが、市としてどう捉えているのか。

答 有機農業の面的拡大や有機農作物の消費拡大に向けた支援策について、平成29年に設立された山口市有機農業推進協議会とも意見交換を行いながら、現在策定中の山口市有機農業推進計画において検討する。民間企業と連携した取組に関しては、耕作放棄地での有機野菜の栽培、販路の拡大や担い手対策の好事例として情報収集し、機会を捉えて検討したい。



自由民主党山口
泉 裕樹

いずみ ひろき



選挙 選挙イヤー！ 政治に関心を表す数値の上昇策は？

選挙イヤー！ 政治に関心を表す数値の上昇策は？

問 極端に低い若年層の投票率向上の取組や、投票率が上昇傾向の期日前投票所の今後の方針、また、投票所の感染症対策について伺う。

答 高等学校への出前授業やインスタグラムの活用による主権者教育を通じ、転出した場合の住民異動の重要性と選挙権の関係について周知している。市内約40か所の期日前投票所については、気軽に投票できる制度として有権者に定着しており、開設日時や場所など丁寧な周知に努めている。来夏の参議院議員選挙まで移動期日前投票所の試験運用を継続し、導入目的に照らした効果など地域有権者の声も聴き総合的に判断する。選挙における新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づく取組を進め、安心して投票できる環境を確保する。

※主権者教育

国や社会の問題を自分の問題と捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと。



ふるさと共創やまぐち
植野 伸一

うえの しんいち



都市 県庁所在市の責務として、国・県へ強く要望を



工務第二課は広域な面積を有する山口市の大部分を所管している

- 問** 人口減少、都市格差が加速している今、自主権限が増える中核市に移行することが必要だが市の考えを伺う。
- また、中核市の人口要件の緩和を国に相談したか伺う。
- 答** 県都のまちづくりを段階的に進め中核市にふさわしい実力具備の上、要件緩和など要望するが、まだその状況にないため相談していない。
- 問** 防府土木建築事務所の本市への復帰はもちろんだが、改善策として、迅速な災害対応のため、本市を所管する工務第二課の現在の山口支所への移設を県へ要望すべき。
- 答** 工務第二課の体制強化について、市として意見を言っていきたい。



高志会
氏永 東光



環境 地域猫活動の推進について



山口県居住支援協議会の概要。山口市版を創り、機能させるべき。

- 問** 地域猫活動推進の今後の取組と方向性を伺う。
- 答** 福祉的な課題を持つ方には福祉関係部局と連携を図るなど、市関係部局や地域、動物愛護団体等との協働により、持続的な飼養活動ができる仕組み作りを検討していく。
- 福祉** 障がい者の生活の場、住居の確保を
- 問** 障がい者の地域定着に向けた取組について伺う。
- 答** 山口市地域自立支援協議会において、市内の不動産管理業者と地域生活を支える障害福祉サービス提供事業所との意見交換を行い、実態の把握や課題の抽出等に努める。将来的な居住支援のネットワークに向けた取組を協議する。



ふるさと共創やまぐち
中野 光昭



医療 ワクチン接種希望者への円滑な接種体制について

- その他の質問
- ▼小・中学校における感染拡大防止策
- ▼救急車の搬送体制と受入れ先病院との連携
- ▼廃業を視野に入れている飲食・観光事業者とその関連事業者への事業リスタート支援策



- 問** 市は10月末までに市内接種対象者の8割以上のワクチン接種完了を目指すとのことであるが、8月末現在の12歳から64歳までの接種完了者は全体の34.5%である。ワクチン確保の状況と今後の接種率の見通しについて伺う。
- 答** 9、10月分の接種体制として、集団接種1万4千人分、個別接種約9千人分のワクチン量と接種体制を確保し、企業、大学等における職域接種を合わせて接種対象者の約82%の接種完了を見込んでいる。



自由民主党山口
湊 和久



防災 避難所での誘導！ 避難所への誘導！

- 問** 避難所での情報伝達ツールとして有効なLEDアンブレボードの導入について改めて伺う。
- 答** 専用の板に書かれた文字が発光するLEDアンブレボードは視覚的な情報伝達手段として有効であり、避難所や夜間の投票所においても活用できることから、本年7月に市内29箇所の地域交流センター及び分館に配備した。
- 問** 避難所へのペットの同行避難について、動物病院や狂犬病予防接種会場、譲渡会等でチラシを配布し、周知啓発を図ってはいかがか。
- 答** 市の指定緊急避難場所と指定避難所ではペットの同行避難に対応している。同行避難に必要なもの、避難所のルール、健康管理やしつけなどを記載したチラシを作成し、周知に努める。



公明党
山本 敏昭



行政 デジタル化で、市民サービス・行財政の改革を！

○消費者教育について

●その他の質問

▼教育行政とノーコード

業務に必要なシステムやアプリの作成に、プログラミングの知識・技術が必要としないノーコード技術を活用すれば、外部の開発ベンダーに委託することなく現場の担当者でアプリを作成できる。大幅なコスト削減と業務の効率化が期待でき、大きなメリットになると考えるが、活用と市職員の研修について伺う。

答 直近では緊急集中PCR検査のウェブ受付フォームをノーコードの活用により、短期間で職員が作成するなど、業務の効率化と市民の利便性向上につながっている。DX推進にあたりデジタル人材が不足する中、引き続き職員研修を実施してデジタル技術を積極的に活用していきたい。

※開発ベンダー

行政や企業から受注を受けてシステムの開発から製造、販売までを一貫して行う企業。



市民クラブ
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



農業 食料自給率向上のために農業の生産基盤強化を！

問 昨年度の食料自給率は歴史的な大凶作の平成7年度を下回り37・17%と過去最低であった。また、近年の米需要の減少傾向に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による外食産業の低迷も懸念すべき大きな課題である。このような状況下、新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」が本年7月にスタートしたが、国産の米や農畜産物の消費拡大の取組について伺う。

答 本市においても、農作物の需要の減少の加速化は大変深刻な問題と認識している。今後、6次産業化の推進による農商工連携や地産地消を核とした有機農業の推進など継続的な支援、定期的なマルシェの開催等、市内産農作物の販路拡大や市外へのPRなどを実施していきたい。




県都創生山口
坂井 芳浩

さかい よしひろ



安全 鋳銭司第二団地の周辺環境整備を！

問 鋳銭司第二団地の整備に伴って、周辺環境整備の一環として、四辻駅から県立山口南総合支援学校までの街灯や防犯灯の整備ができないか伺う。

答 企業誘致が進むことで、周辺の人の流れや車両の交通量も増加することが予想されることから、地域の要望等も踏まえ、今後、地元住民や関係機関と一緒に検討していく。

定住情報通信インフラ整備について

問 秋穂地域への定住・移住を促進するための重要なデジタルインフラである光ファイバーの整備が完了する時期について伺う。

答 本年度末を目途に整備が完了する見込みであり、その後、順次サービス提供が開始されるものと考えている。




公明党
桜森 順一

さくらもり じゅんいち



防災 運動広場の機能を有する広域避難場所の整備を！

問 阿知須合同納骨塔周辺で整備中の「あじすふるさとの丘公園」付近で進む山地開発に合わせて、大規模災害時に車で避難できる駐車場を兼ねた運動広場の整備を求めるが、市の所見を伺う。

答 運動広場機能を有する広域避難場所の整備については、阿知須地域で開催した車座トーク21において阿知須地域づくり協議会から、高潮浸水に対する地域の不安や高台の避難所確保の必要性について地域の災害体験を踏まえた内容で強く要望をいただき、市としてもしっかりと受け止めている。地域の実情を踏まえ、運動広場等のオープンスペースと広域避難場所の在り方について、全市的に整理をしながら、総合的に検討していきたい。




県都創生山口
山本 貴広

やまもと たかひろ



教育

幼稚園、小・中学校の全教室にエアコンを設置しました

質問

夏場における児童生徒の学習環境を守るため、全ての普通教室にエアコンを設置してはかがか。

その後

子どもたちが猛暑の中でも安心して授業に臨めるようすべての公立幼稚園と小・中学校の普通教室及び特別教室にエアコンの整備を完了しました。子どもたちや教職員、保護者からも感謝の言葉をいただくことができました。



教育

児童生徒1人1台のパソコン配置が完了しました

質問

ICTを活用した教育を推進していくべきである。そのための環境整備等にどのように取り組んでいくのか。

その後

これまで県内他市町に先駆けて電子黒板やタブレット端末を導入するとともに、校内における通信環境の整備などを進め、ICT機器を活用した授業や学習に取り組んできました。国の*GIGAスクール構想により令和2年度末には児童生徒1人につき1台の端末の配置が完了したことから、令和3年度は、授業での活用や端末機を家庭に持ち帰ることなどを検討しています。



リモート授業での活用にも期待されます



※文部科学省
HDPを
ご覧ください。

質問の先

議員は、本会議や委員会において、市民の皆さんにとって身近な問題や、まちづくり、子育て、教育、地域経済に関することなど、多岐にわたるテーマで質問し、市政に反映されています。

質問や答弁の詳しい内容は市議会ホームページの山口市議会会議録をご覧ください。



子育て

市立保育所から「使用済み紙おむつ」を持ち帰らなくてよくなりました

質問

保護者からも要望の声があがっており、衛生面からも保育所での回収・処分を検討すべきではないか。

現状や今後

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和3年10月からすべての市立保育所で使用済み紙おむつの処分を実施し、保護者が持ち帰ることがなくなりました。

また、私立保育所については一部の園ですでに実施されていますが、保管庫等の設置を補助することで実施拡大を支援します。



子育て

中学生までのすべての子どもの医療費を助成します

質問

医療費は家計への負担が大きく、少子化の一因にもなる。子育て世帯への支援拡充を図るべきではないか。

その後

平成25年から未就学児を対象とした保険診療による医療費の自己負担分の助成をスタートし、その後、小学3年生まで、小学6年生までと年齢や対象範囲を拡大してきました。令和3年10月からは、父母の所得に関係なく中学生までのすべての子どもの医療費について助成しています。

農業

トビイロウンカ被害を受けた農業者を支援しました

質問

令和2年産の水稻は、全国的にも例のない甚大な被害を受けている。農業の継続のため積極的な支援を求める。

その後

令和2年12月の補正予算で令和2年産の水稻の作付面積10アールあたり1,000円の給付金を計上し、さらに追加支援として、令和3年3月には令和3年産の作付に係る種子および防除薬剤の購入への支援金2,660円を追加計上し、合わせて3,660円を生産者の申請口座へ振込みました。その結果、支援金の総額は約1億6,786万円となりました。

令和3年産の水稻は、薬剤による防除への支援および指導を徹底し、飛来数の減少もあって市内でのトビイロウンカによる被害はほとんど発生していません。



今年は
平年並みの
作況指数と
なりました

議会からのお知らせ

ご協力ありがとうございました

協力団体（順不同）

- ・ NPO法人山口市男女共同参画ネットワーク
- ・ やまぐちネットワークエコー
- ・ NPO法人やまぐち男女共同参画会議
- ・ 山口市男女共同参画会議
- ・ 小郡女性団体連絡協議会
- ・ HummingBird

議会と女性団体が一緒に
なつて、女性目線の意見を
あげる女性議会などを
実現したい

市議会には女性議員が
2名しかいない
女性議員を増やすことに
力を入れたいと

政治や選挙の話は
生活と密着している
はずなのに、世間話にも
あがらない…

若い世代で
活躍している団体
がたくさんある
市の審議会等でも
活躍できる環境
づくりを！

女性が選挙に出る
となると、家庭や
男性優位の社会…
壁がいくつもあ

女性が生きづらい
という課題を
政策決定の場
にもつていかないと

もつと、議員と気軽に
本音で話せる場が
たくさんあったら良い

『市議会だより』が
見やすくなつて
身近になつたので
もつと読んでもう
工夫を！

（いただいたご意見の一部を紹介して
います。）

「女性の市政への参画」をテーマに 市民団体との懇談を行いました

7月30日

市議会として、女性の市政への参画を進めていくためには何が
必要か、何が求められているのか検討の参考とするため、市政に
関心を持ち活動されている団体と広報広聴委員による懇談を行い
ました。



参加者と広報広聴委員の懇談

懇談会を受けて、女性の声を市政に反映するための広聴機能や
市政への関心を高めるための広報機能の強化など女性の市政への
参画につながる取組について検討し、今後は、議会として、各議
員としても、より一層推進していくことを確認し、具体的に取り
組んでいくこととしています。

審議会等の女性委員登用率の向上に向けたさらなる取組を 推進されるよう市長に要望しました

10月1日



議長から市長へ要望書を提出

審議会等への女性の参画については、市の政策・方針決定過程
への女性の声の反映につながることから、市議会として市の取組
に注目するとともに、大いに期待しているところです。

第2次山口市男女共同参画基本計画の指標「審議会等の女性委
員登用率」の目標（令和4年度目標値 35%）の達成に向け、さら
なる取組を推進されるよう要望しました。

引き続き、達成状況や取組について確認していきます。

議会改革検討協議会（第5回答申）

議会基本条例を遵守することで議員の政治倫理
の向上を図ること、また、インターネットやSNSなど
多様化する議員の情報発信については、法令の遵守
はもとよりプライバシーに、より一層配慮して行う
ことなど、一定の結論に達した2項目に
ついて答申しました。

答申の詳しい内容は、市議会ホーム
ページをご覧ください。



（仮称）

山口市 手話言語 条例の制定に向けて 山口市議会条例立案等調査研究会

条例立案等調査研究会で検討を重ね作成した
条例（素案）について、去る9月27日から10
月26日までの間、パブリックコメントを実施しま
した。

条例議案の本会議への提出に向け、
引き続き、調整を進めていきます。



議会の主な動き



7月

- 6日 条例立案等調査研究会
- 12日 会派代表者会議、議会運営委員会、市議会だより等編集委員会(以下「編集委員会」)
- 14日 タブレット端末の更新等に関するワーキンググループ会議(以下「タブレット会議」)
- 26日 編集委員会、条例立案等調査研究会
- 28日 タブレット会議
- 29日 議会改革検討協議会
- 30日 広報広聴委員会

カワラケツメイ開花



8月

- 10日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 11日 タブレット会議、条例立案等調査研究会
- 19日 広報広聴委員会
- 25日 タブレット会議、条例立案等調査研究会
- 26日 議会改革検討協議会
- 27日 新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会
- 30日 議会運営委員会、会派代表者会議、条例立案等調査研究会、執行部説明会、広報広聴委員会

9月

- 2日 条例立案等調査研究会
- 6日 第4回定例会初日(～10月8日最終日)
- 7日 議会運営委員会、会派代表者会議
- 13日 編集委員会
- 16日 議会運営委員会、全員協議会
- 22日 広報広聴委員会

市民栄誉賞贈呈式・ふるさと大使委嘱状交付式



大野将平選手(9月6日)



石川佳純選手(9月22日)

10月

- 5日 会派代表者会議、新本庁舎の建設等に関する調査特別委員会、議会改革検討協議会
- 8日 編集委員会、条例立案等調査研究会



山口市民会館開館50周年記念式典・記念公演(10月9日)



D51-200号機によるSL「やまぐち」号
11か月ぶりに運行再開
(10月23日)

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…11/17(水)まで 請願の受付…11/24(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
11/28	29	30	12/1	2	3	4
	本会議 (初日) 10:00～					
5	6	7	8	9	10	11
	本会議 10:00～ (一般質問・質疑)	10:00～17:00 ケーブルで生中継		本会議終了後 予算決算 委員会		
12	13	14	15	16	17	18
	教育民生 委員会 生活環境 委員会 10:00～	総務 委員会 経済建設 委員会 10:00～		予算決算 委員会 10:00～		
19	20	21	22	23	24	25
	本会議 (最終日) 10:00～					
26	27	28	29	30	31	1/1

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

● 山口市議会ホームページ
<http://www.yamaguchi-gikai.jp>



● インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所: 〒753-8650 山口市亀山町2番1号
電話: 083-934-2854 / FAX: 083-934-2658
メール: gikai@city.yamaguchi.lg.jp
あて先: 山口市議会事務局「議会の感想」宛て

編集後記

新市発足後16年ぶりに市政のリーダーも変わり、新体制での船出。二元代表制の一翼、34分の1の視点で、しっかりと任期内、市政の運営を見据えてまいります。(植野)

渡辺市長として最後の総括的な施策、評価、課題を述べられ、議員も熱い思いの中で質問した議会だった。改めて『市民のために住みよい山口市へ』と責任を感じさせられました。(氏永)

市議会だより等編集委員会

委員長 倉重 浩 副委員長 大田たける
委員 泉 裕樹・湊 和久・中島裕一・野島義正
山本貴広・山本敏昭・植野伸一・氏永東光
野村雄太郎

次号は2月1日です